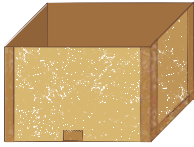


ダンボールコンポストを使う方法

ダンボールコンポストの作り方はWEBサイトでも紹介しています

- 用意するもの**
- ・ダンボールコンポスト(市販品や自作したもの)
 - ・ふた
 - ・床材
 - ・基材(ピートモス、もみ殻くん炭、米ぬか等のボカシ)

生ごみブレンド



本体

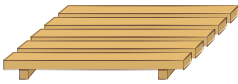


or

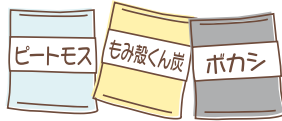


ふた

スノコなど



上げ底用の床材



基材

ピートモス

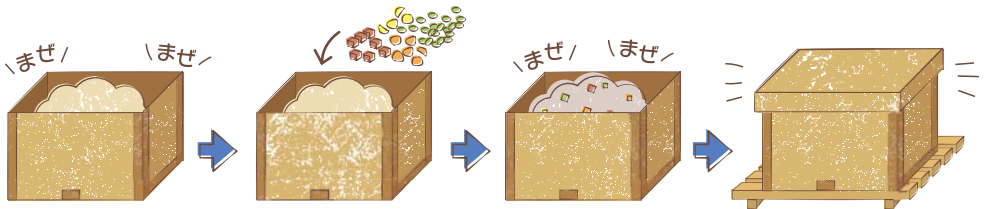
ミズゴケ類などが重なり合って固まったものを原料に、乾燥/粉碎した保水性の高い土壌改良材

もみ殻^{から}くん炭^{たん}

もみ殻を^{いぶ}燻^{たんか}炭化させたもの。保水性、通気性が高くバクテリアが繁殖しやすい

ボカシ

発酵させた米ぬかななどを「ボカシ」と呼び、安定した肥料効果が得られる



① 基材をダンボールに入れ、よく混ぜる

② 生ごみを投入する

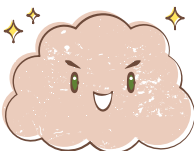
③ よくかき混ぜる

④ 虫が入るのを防ぐため、ふたをし、通気性の良い床材の上に乘せる

中身がサラサラしている状態 ➡ 毎日生ごみを入れても大丈夫

混ぜるのが重くなった状態 ➡ 交換時期

3~6か月目で
土団子が握れるくらい



交換時期が来たら生ごみを分解きった状態で、日陰で1か月ほど熟成させてね。堆肥として使うには土に対して4分の1の割合で混ぜてね

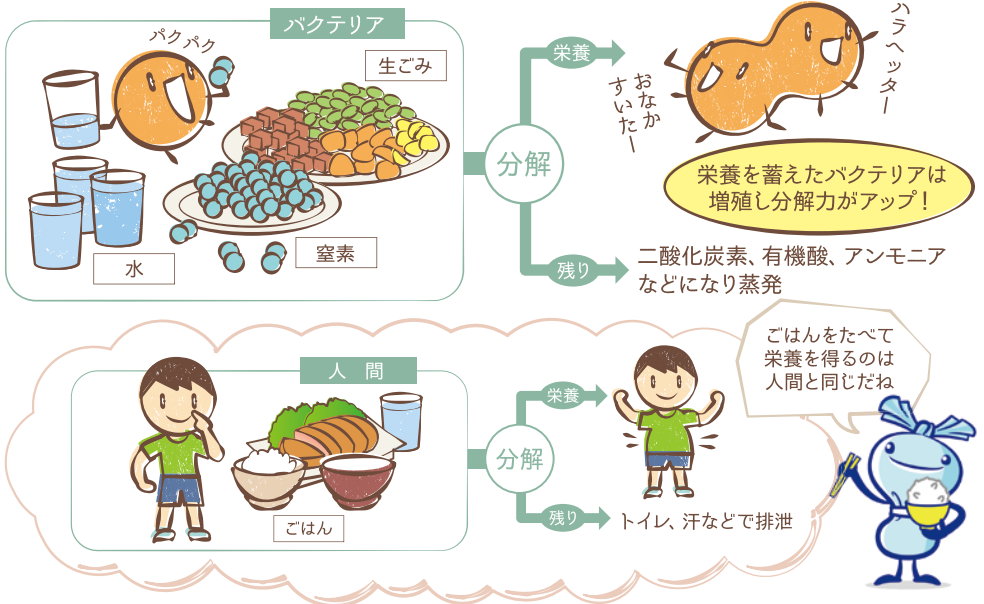
◆ミミズコンポスト

シマミミズを飼育し、生ごみを餌として与えることで生ごみを土と有機肥料にする方法です。餌がなくなると逃走します。適度に餌を与えて飼育しましょう！

◆有機微生物による分解

「ボカシ」や市販の「EM菌」などを使用して、生ごみを有機肥料にする方法です。

バクテリアが生ごみを分解する仕組み

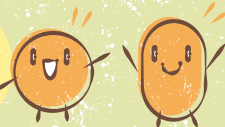


バクテリアには「好機性呼吸」と「嫌気性呼吸」を行うものがあります

好機性呼吸

酸素で活動する → 有機物を**発酵**させる

チーズや
味噌ができる
しくみ



水分が多すぎると
活発に働かせ！



ヘドロ臭や
アンモニア臭が
します

嫌気性呼吸をするバクテリア

好機性呼吸するバクテリアの活動によって栄養たっぷりのエリー土をつくらう！